



## 学校評価アンケートを次年度に繋げるために

学校評価アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。

お寄せいただいたご意見や感想は、学校をより良い場にするための大切な指針となります。皆さまからの声を拝見する中で、本校の取り組みに対する温かい励ましとともに、今後さらに力を入れるべき課題についても多くの気づきを得ることができました。

アンケート結果を通して見えた課題を真摯に受け止め、学校全体として改善を進めていくとともに、生徒たち一人ひとりが成長と幸せを実感できる学校づくりを目指してまいります。来年度も、皆さまとともに「より良い四中」を築き上げていきたいと思っております。

生徒アンケートと保護者アンケートの結果を掲載させていただきます。

### 【生徒アンケートより】

質問項目	7年	8年	9年	全校
1. 学校生活は楽しい	94.5	87.6	91.4	91.8
2. 家族と学校生活についてよく話す	80.3	82.2	78.5	80.1
3. 自分からあいさつをしている	90.6	89.1	87.1	88.7
4. 5分前行動ができている	95.3	89.0	89.2	91.8
5. 提出期限を守っている	82.7	61.6	77.4	76.0
6. 学校のルールを守って生活している	96.8	95.5	96.8	96.6
7. 黙動や自問の意義を理解して清掃に取り組んでいる	94.5	95.9	91.4	93.8
8. 委員会活動や係活動に工夫して取り組んでいる	92.9	95.9	89.3	92.8
9. 自分の活躍できる場がある	85.0	65.7	72.0	76.0
10. 「自分は役に立っている」と感じる時がある	69.2	57.5	68.8	66.1
11. 何事にも「やればできる」という気持ちで成長しようとしている	86.6	71.3	83.9	81.6
12. 先生は、悩みや相談事、心配なことがあった時に親身になって相談ののってくれている	89.8	83.5	87.1	87.4
13. 先生は、自分のよさを認めてくれている	92.9	90.5	95.7	93.2
14. 自分にはよいところがある	82.6	71.6	77.4	78.1
15. 友だちのよいところに気づくことができる	96.8	95.9	93.5	95.6
16. 「ありがとう」を言葉にしている	97.6	97.3	93.6	96.3
17. 「やればできる」という気持ちで授業に取り組んでいる	90.5	81.1	80.6	85.0
18. 授業は、ICT（デジタル教科書、PPT、映像等）を活用するなど、分かりやすく工夫されている	96.8	85.1	98.9	94.5
19. 授業は、ペアやグループなど学習形態が工夫されて学び合う場がある	98.4	94.6	97.9	97.3
20. GIGA 端末を効果的に活用している	95.2	87.8	94.6	93.2
21. 自分から家庭学習に取り組んでいる	77.9	60.8	79.6	74.3
22. 家族と進路について話すことがある	71.7	79.7	92.5	80.5
23. 健康に気を付けて規則正しい生活を送っている	92.2	83.8	87.1	88.7
24. 進んで体を動かし、体力の向上を図っている	82.7	77.0	67.7	76.4

質問項目	7年	8年	9年	全校
25. 学校はいじめを見逃さない姿勢をもっている	84.3	70.2	83.9	80.5
26. 学校便りや学年・学級通信を読んでいる	66.2	43.3	63.4	59.2
27. 学校の施設、設備など学習しやすい環境になっている	94.5	84.3	94.6	91.8
28. 携帯電話・スマートフォン等を持っている	87.4	96.0	89.2	91.4
29. スマートフォン等を持っている人のみ教えてください。家庭でスマートフォンやSNSの使い方のルールを決め、守っている	89.3	86.3	89.7	82.9

\*数字は、「あてはまる」「大体あてはまる」の肯定的意見のパーセンテージです。

### 【アンケート結果より見えたこと】

○肯定的な意見が多く、とても嬉しく思います。学校長が、全校集会などでみんなに贈るメッセージが届き、それを行動にしてくれた結果だと思います。

#### ▲「10. 自分は役に立っていると感じることがある」の数値が低い

→皆さんの活躍の場をもっと作っていきたいと思います。学校全体へのアプローチは難しくとも、学級の中でできることは意外にたくさんあると思います。友達に「ありがとう」を伝えるだけでも、「役に立っている」ことにも気づいてくれると嬉しいです。誰かを幸せにしている言葉や行動は全て誰かの「役に立っている」です！

#### ▲「26. 学校便りや学年・学級通信を読んでいる」の数値が低い

→学校便りや学年・学級通信には、生徒の頑張りや成長、学校の教育方針、行事等の意義など、生徒の皆さんにも知ってもらいたいこと、読んでもらいたいことがたくさん込められています。校務DXの促進等でデータでの配信になったことで、教室には掲示していてもなかなか読むことがないことが分かりました。次年度からは、生徒のみなさんにもより近くに感じることができよう、Classroomでの生徒配信も含め、情報発信の方法を改善していきます。

### 【自由記述への回答】

#### ○学校付近に道路が多いため見回りを行ってほしい。

→登下校の安全はとても大切なことですが、学校の指導が及ぶのは校内での活動が中心となります。登下校中の安全確保については、地域全体で支えていくことが大切であり、各自治体や見守り活動をされている方々の協力のもとで成り立っています。登下校中に危険を感じる場所があれば、ぜひ先生や家族に伝えてください。学校としてもできる範囲で関係機関と情報を共有し、皆さんが安心して通学できる環境づくりに努めていきます。安全な登下校のために、交通ルールを守り、周囲に気を配る意識も高めていきましょう。

#### ○校則を守ってない人に厳しくしてほしい。

→学校としても、生徒の皆さんが自分たちで作ったルールを、全員が守り、気持ちよく学校生活を送れることが大切だと考えています。そのため、校則が守れていないことがあった場合には、個別に声をかけたり面談をしたり、保護者の方とも連携を取りながら改善に努めています。しかし、今年度は、時間をかけて話し合いを重ねても、すぐには改善が見られないケースもありました。このような場合でも、学校は根気強く面談を重ねており、一人ひとりがより良い方向に進めるよう働きかけています。校則を守ることは、単にルールだからというだけではなく、集団生活を円滑にするためにも重要なことです。これからも、より良い学校づくりを目指して取り組んでいきます。生徒同士でも、「おかしいな」と思ったら声を掛け合えるような仲間作りができるよう、一人ひとりの理解と協力をお願いします。

#### ○自由な服装・自由な髪型など容姿の個性ではなく、学校は内面的な個性を活かす方法を取るべきだと思います。

→学校では、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら、社会で生きる力を育むことを目指しています。学校も、中学生は容姿にこだわるよりも、内面的な個性を活かすことに力を入れています。授業や行事、部活動などを通じて、生徒の得意なことを伸ばし、主体的に考え、行動できる機会を増やしていきたいと考えています。個性を尊重しつつ、より良い学校づくりを進めていきます。

### ○部活増やしてください（整った練習環境など）

→部活動は、皆さんが仲間と共に成長し、充実した学校生活を送る大切な場です。そのため、活動時間や日数を増やしたいという声があることも理解しています。しかし、学業とのバランスや、指導にあたる教員の数、活動場所の確保など、さまざまな要素を考慮する必要があります。限られた時間の中でも、より充実した活動ができるよう工夫し、効率的な練習方法の導入などを検討していきます。今後も、より良い部活動のあり方を考えながら取り組んでいきます。

### ○もっといじめがあるのを気付いてほしい。

→学校としても、いじめは決して許されるものではなく、日頃から生徒の様子を注意深く見守り、相談しやすい環境づくりに努めています。しかし、すべての状況に気づけていないことがあるかもしれません。もし困っていることや気になることがあれば、どんな小さなことでも信頼できる先生や家族に伝えてください、チーム学校として対応していきます。学校全体でいじめを見逃さず、誰もが安心して過ごせる環境をつくるために、皆さんの協力をお願いします。

### ○給湯器あってくれ!/ウォーターサーバー欲しい。

→学校生活をより快適にしたいという気持ちはよく分かります。しかし、給湯器やウォーターサーバーの設置には、安全管理や維持費用の面で課題があり、残念ながら現時点では導入の予定はありません。その代わりに、必要に応じて水分補給ができるよう、水筒の持参を推奨しています。引き続き、皆さんが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 【保護者アンケートより】

質問項目	全校保護者
1. 子どもは楽しく学校生活を送っている	95.5
2. 学校生活に関する話を親子でよくする	83.4
3. 学校は、基本的な生活習慣を身に付けられるよう努めている	94.6
4. 子どもは学校のルールを守って生活している	93.0
5. 子どもは家の手伝いをしている	66.6
6. 子どもが主体になって学校行事をつくり、活躍する姿が見られる	79.6
7. 子どもは、途中であきらめず「やればできる」という気持ちで成長しようとする姿が見られる	81.2
8. 学校は、問題や心配なことがあった時に親身になって相談にのっている	86.6
9. 学校は、子どものよさを認めてくれている	91.7
10. 子どもは自分のよさに気づいている	74.5
11. 学校は様々な教育活動を通して、思いやりと感謝の心を育てている	89.5
12. 学校は、分かりやすい授業を行っている	86.0
13. 学校は子どもの日頃の学習状況や頑張りを適切に見取っている	85.1
14. 授業では、自分の考えを表出する機会が作られている	88.6
15. 授業では、ICTを活用するなど、学力向上の手立てを工夫している	91.1
16. 子どもは、GIGA 端末を効果的に活用している	72.6
17. 子どもは家庭学習が習慣化されるなど、自ら学ぶ姿勢が身に付いている	58.3
18. 進路について親子で話し合うことがある	87.5
19. 子どもは、健康に気を付けて規則正しい生活を送っている	84.7
20. 子どもは、進んで体を動かし体力向上を図っている	72.0
21. 学校は、いじめを見逃さない姿勢をもっている	82.5

質問項目	全校保護者
22. 学校は、学校の教育活動の様子や情報を積極的に発信している	89.8
23. スクリレによって配信される学校からの情報は、必ず確認するようにしている	97.8
24. 学校の施設、設備など、学習しやすい環境になっている	94.3
25. 子どもに携帯電話・スマートフォン等を持たせている	91.1
26. 家庭ではスマートフォンやSNS等の使い方についてルールを決め、守られている	79.6

\*数字は、「あてはまる」「大体あてはまる」の肯定的意見のパーセンテージです。

### 【アンケート結果より見えたこと】

○全体の8割を越えた項目は多かったですが、次年度は9割を越える項目をもっと増やせるよう、努めて参ります。

▲「6. 子どもは家の手伝いをしている」の数値が低い

→生徒の項目でも「自分は役に立っている」の数値が低く出ました。習い事等で忙しいかも知れませんが、家庭の中でも役割をもち、誰かのために何か動きかけられる子ども達の育成を学校と家庭とが両輪となってサポートできればと思います。

▲「17. 子どもは家庭学習が習慣化されるなど、自ら学ぶ姿勢が身に付いている」の数値が低い

→保護者の方からのコメントでも多数あがっていたため、そちらで回答いたします。

### 【自由記述への回答】

○ポジティブな声かけをしてくださる先生方に感謝しています。

○毎日元気に楽しく登校し、社会生活に必要な活動を身につける指導をして頂き、ありがとうございます。

○いつも寄り添った対応をしてくださり本当にありがとうございます。

○担任の先生を信頼して安心して学校に通っている様子が伺えます。いつも親身になってくださりありがとうございます。

○学校で起きたことを毎日話してくれます。毎日楽しんで学校にいけています。今後も宜しく願い致します。

○面談など電話でも良いところを少しでも気が付いて言って下さる言葉は安心します。時に厳しい時も本人の良い所を認めて下さると自己肯定感を高めて頂けると思います。

○面談でも良いところを見つけて言って下さり自己肯定感が高まりました。子供本人は学校が大好きで毎日登校を楽しみにしている。『学校は癒やし』…と言っていた事もあるので、先生方が自己肯定感を高め、心地良く過ごしやすい環境を整えてくれていることに感謝している。

○面談にて心理相談など開ける扉があることをきちんと伝えて下さっていてとても良いと思いました。ありがとうございます

○良いところはきちんと、褒めてもらえる。

○責任感を、もたせるために役割を与えてくれる。

○進級する際に先生方には大変お世話になり、今年度はクラス的环境が良かったので1年間安心して学校生活を送ることができました。また、気心おける友達も出来て我が子の表情も明るさを取り戻しました。いじめに対する先生方のご指導が日頃から行き届いているおかげです。ありがとうございます。引き続きよろしく願います。

○学年だより等で学校での取り組みを知ることができ、ありがたいです。

今年度の学校運営について、多くの温かいご意見をいただきました。これらのお言葉を励みに、引き続き、生徒たちがより良い環境で学び、成長できるよう努めてまいります。今後とも、ご意見やご協力をよろしくお願いいたします。

- 授業内容の理解度をもう少しこまめに確認し理解不足への対応をその都度おこなってほしい。
- 学習面での理解が追いつかず、学校が辛い場所になってしまうことが怖いので、今の自己肯定感を育てる方針を維持しつつ、学習面の更なるサポートがあると良いと思う。
  - 授業内容の理解度をこまめに確認し、理解不足に適切に対応することは、生徒の学びを支える上で重要だと考えております。ミニテストや単元テストを積極的に取り入れ、早い段階でのつまずきに気づけるよう努力してまいります。また、授業中の声掛けや質問しやすい場作り、振り返りにおけるメタ認知力を高め、自己肯定感を大切にしながら、一人ひとりが前向きに学習に取り組める環境づくりに努めてまいります。
- 進路については話す機会は増えてきましたが、実力テストの結果にはむらがあります。間違ったところを見直すように話しますが、実際見直しているのかわかりません。学校では自主学習でテストの間違を見直すようにするなどの指導があるのか知りたいです。
  - 定期テストについては、解説を丁寧に行っておりますが、実力テストについては教科担当によるところがあります。このご意見のように、テストは受験後の見直しが定着に繋がる大切なステップとなります。また、家庭学習時間が少ないことが現在の四中生の課題でもあります。テストの見直し等を課題にするのは大変有意義だと考えます。実力テストの分析と丁寧な解説を含め、生徒の学力向上に繋がる職員研修を進めて参ります。
- 自主学習などの本人の努力不足に対してもう少し背中を押し助言を頂きたい。
- 宿題が少ないように感じる。課題を多くして家庭学習時間を促して欲しい。
- 殆ど家庭学習をしていないので、強制的な課題提出があってもいいと思います。
  - 家庭学習の習慣が十分に定着していないことについては、私たちも課題として危機感を感じております。自主学習の重要性を生徒に改めて伝え、学習意欲を高めるための助言や働きかけをより積極的に行ってまいります。宿題や課題の量についても見直し、適切な負荷をかけながら学習習慣の定着を促していく必要があると考えています。今後も、生徒の学力向上に向けた具体的な対策を講じてまいります。
- 機材の不具合で自宅でオンライン授業ができる環境がなく無理して学校に行ったことがあった。早急に改善してほしいです。
  - 無理をして登校されたとのこと、ご家庭にご心配やご不便をおかけしたことを真摯に受け止めております。機材の不具合が、お子様の GIGA 端末にあったのか、学校の配信機材にあったのか、このご質問から分かりかねるところがあるので、個別にご相談いただきましたらご対応させていただきます。尚、生徒用 GIGA 端末は令和 8 年度に総入れ替えとなるため、令和 7 年度に故障が生じた場合は修理が難しくなるそうです。その旨もご理解いただいた上で、学校としても活用方法や活用場面を考えていきたいと思っております。
- 今年度のように体育祭と音楽祭が近々で開催されるのは子供達も大変ではないかと思う。また、定期テストや実力テストが行事のすぐ後に行われるのも負担になると思うので、難しいかもしれないがもう少し余裕のある日程調整を検討してもらえるといいのではないかと思います。
  - 子ども達の負担やご参観される保護者の皆様のスケジュール調整等を考えると大変申し訳ないのですが、来年度も体育祭と音楽祭が近い日程で実施されることになりそうです。熱中症対策や新人戦の日程を鑑みて、学校行事を組んでおります。体育祭も音楽祭も生徒の自治的活動であり、大きく成長する場でもあるため、削減は考えておりません。行事と定期テストが重なるのは、生徒にとって大きな負担となると思っておりますので、このご意見も参考に、年間計画を検討して参ります。
- 進路提出資料の記載内容や、高校見学等の実施方法について、担任の先生によって話が違ふ事があるので、学年内で情報は共有していただきたいです。
  - 大切な進路に関わる情報でご不安を抱かせてしまい、大変申し訳ありません。今後は、学年内での統一はもちろんのこと、「進路通信」等を発行し、紙面上でも全学級共通のものでご確認いただけるよう対応してまいります。ご心配なことがある際は、いつでもご相談いただければと思っております。
- 高校について、いろいろ高校の特色を楽しく紹介する機会をなるべく多く設けてほしいです。
  - キャリア教育の充実のために、前向きに検討してまいります。

○通信高校への進学を簡単に進めないでいただきたいです。3年後の出口（進学）は決して一般高校と同じではないこともきちんと伝えて欲しいです。

→通信制高校への進学に関するご心配を真摯に受け止め、今後の進路指導に生かしてまいります。通信制高校は、個々の学習スタイルや生活状況に応じて柔軟に学べる利点がある一方で、全日制高校とは異なる学習環境や進路選択の課題も存在します。進路指導においては、そうしたメリットとデメリットの両面を正確にお伝えすることが重要であり、「簡単に進める」ような対応は適切でないと考えております。今後は、通信制高校への進学を検討する際、卒業後の進路（大学進学、就職など）の選択肢や課題についても具体的に説明し、生徒と保護者が十分に理解した上で判断できるような支援体制を強化してまいります。また、個別相談の機会を増やし、生徒の適性や将来の希望に寄り添ったアドバイスを提供することで、より納得のいく進路選択ができるよう努めます。

○子供達に思いやりのない対応をしている先生がいます。厳しさは良いと思うのですが自分の感情や気分ですら理不尽な発言や態度をして子供達を傷つけています。進路指導の際もかなり酷いことを言われました。

→お子様が教員の言動によって傷つかれたとのこと、学校としても大変重く受け止めております。教員は生徒の成長をサポートする存在であり、感情的な言動によって傷つけたり理不尽さを感じさせたりすることは、決してあってはならないことです。進路指導においても、生徒一人ひとりの将来を真剣に考え、前向きに支援する姿勢が何より大切だと考えております。このご指摘を踏まえ、改めて教職員一同、指導の在り方について振り返り、適切な対応を心がけるよう努めてまいります。また、必要に応じて個別に状況をお伺いし、具体的な改善につなげていきたいと考えております。今後とも、お子様が安心して学べる環境を整えるため、ご意見をいただければ幸いです。貴重なご指摘をありがとうございました。

○子供の話を聞くと、優しく親しみやすい先生が多い印象があります。しかし一部の先生の何気ない言葉に傷ついたりしています。先生と友達は違います。子供には先生のことを親しみながらも尊敬してほしいと思っております。先生方の方も意識を高めていただけたらなと思っております。

○教科や先生により差があるとよく話している。

○生徒の意見をきちんと聞いた方がいい

→お子様が「優しく親しみやすい先生が多い」と感じていることは、私たち教職員にとって大変嬉しく、励みになるお言葉です。一方で、一部の先生の何気ない言葉に傷つくことがあるというご指摘については、真摯に受け止めてまいります。私たち教員は、子どもたちとの信頼関係を築きながら、良き大人の手本となる役割を担っています。そのため、親しみやすさと同時に、教師としての品格や言動にも十分配慮しなければならないと考えています。私たち教員が尊敬に値する存在になりつつ、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、改めて教職員一同、言葉遣いや接し方・傾聴の姿勢を見直し、意識を高めてまいります。職員の言動について、気になることがございましたら、いつでもご相談下さい。

○生活態度も学習面でもどん底にいますが、先生大人達はどのような生徒にも絶対の味方だと信頼関係を教えてもらいたい。例えうわべでも演技でもいいのです。

○子供達に寄り添うのがない気がします。ルールや点数ばかり評価し、子供達の存在を無視して学校の評価ばかりを重点にしている教育をしていると感じます。改善を求めたいです。

→どのような状況にある生徒に対しても、私たちは寄り添い、支える存在でありたいと考えています。信頼関係の構築は、生徒が前向きに成長していくための大切な基盤です。時には厳しく指導する場面もありますが、その根底には必ず生徒のことを思う気持ちがあります。生徒一人ひとりの存在価値を認め、努力や成長の過程をしっかりと見守ることが大切だと考えています。今後は、教師と生徒の対話の時間を増やし、学習面だけでなく心の成長にも寄り添う指導を心掛けます。一人ひとりの心に寄り添い、安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。生徒に「愛」が伝わるよう、しっかりと向き合っています。

- 生徒が人として間違っている言動行動はきちんと言うべき。
- 校則違反している生徒さんが多すぎます。来賓が来る様な体育祭など行事に参加させないでほしい。四中のイメージが悪くなり受験のとき不利になりそうです。

→この件は学校全体の規律やイメージ、ひいては生徒たちの将来にも関わる重要な課題であると認識しております。本校の校則は生徒たちが話し合いを重ね、自分たちで作りに上げています。その校則を守ることで、四中生の一員である自覚をもち、責任ある行動を身に付けるための大切な指針です。その指針が守られず、ご心配をおかけしていることをお詫び申し上げます。来賓が参加する体育祭などの公式行事においては、学校の品位や伝統を保つことも大切ですので、校則に則ったかたちで参加ができるよう、個別の指導と保護者との対話を重ねてきました。校則違反を理由に行事参加を一律で制限することについては、生徒の学びや成長の機会を奪う可能性もあるため、慎重に対応する必要があります。そのため、対話を通じて自覚を促し、行事の場でも責任ある態度で参加できるよう、事前の指導やフォローの徹底を継続してまいります。これは、個人の課題であるため、他生徒の受験に影響することはありませんが、四中のイメージ向上と、生徒たちの安心安全な環境づくりに向けて、学校全体で取り組んでまいります。

- ルールばかりおしつけているのはよくないのでは？

→上記で記したように、本校の校則は生徒の手で作られています。決して押しつけではなく、四中生としての自覚と誇りを全生徒に大切にしてほしい、という思いから声をかけています。ルールメイキングの話し合いは毎年行っているため、生徒の意見が反映される場合は保障されています。実態や時代に合わせて、生徒の判断と話し合いで校則（ルール）をリメイクしていければと思います。

- パソコンを学校で管理してほしい/パソコンの持ち帰りはやめてほしい

- パソコンを持って帰るメリットよりはデメリットの方が多い。学校と行政で子どもをメディア中毒にしているようなものだと思う。

→タブレットの持ち帰りは、ICTを活用して学習の幅を広げることや、個別最適化された学びを支援することを目的としています。しかし、ご指摘の通り、長時間のスクリーン利用によるメディア依存や健康への悪影響についても十分に配慮しなければなりません。今後は、タブレットの使用目的や時間について、生徒とルールメイキングするとともに、ご家庭と連携しながら、学習以外での過度な使用を防ぐ工夫を進めてまいります。また、土浦市の一斉制限で、YouTubeは見られない設定になっております。学びの効果と健康面のバランスを重視し、ご家庭のご意見を反映させながら最適な活用に努めてまいります。

- スキー合宿はとても楽しく有意義な体験ができたようです。7年、8年生が参加出来るように計画するのは大変だったと思います。ありがとうございました。

- 近年物価が一気に上がり、更に上昇していています。修学旅行やスキー合宿の見直し（スキー合宿の場合は日程の短縮や行き先の変更、修学旅行の場合は地域を関西圏のみ等に限定する等）の予定はありますか？

→スキー宿泊学習では、生徒たちが達成感を得る貴重な経験ができたことを嬉しく思います。また、修学旅行では、平和学習の観点から、広島市の被爆者の語り部さんがご存命の間に直接お話を伺う機会を大切にしたいと考えています。しかし、近年の物価高騰は大きな課題であり、学校としても慎重に検討を重ねています。今後も教育的価値を維持しつつ、費用面にも配慮した最適な計画を検討してまいります。

- ホームページでの学校の様子が更新される機会が少なく感じます。お忙しいとは存じますが、もう少し学校での様子がアップされると嬉しいです。

- 学校評価の回答の選択肢に「わからない」を入れてほしい。

→生徒の活動の様子や活躍、学校の教育方針が反映されている活動など、HPや学校便りでもっと発信すべきだったと反省しております。思春期であり学校のことを話さなくなっているお子様もいるかと思えます。保護者の皆様に、四中の教育活動についてより一層のご理解を得られるよう、「わかからない」がなくなるよう、情報の発信に努めてまいります。

- 毎月、下校時刻予定表をだしていただきたいです。

→学年便りに記載しているので、学年便りもHPに掲載するようにいたします。

○部活動をもっと盛んにやってほしい。他校よりもあまりに部活動がなさすぎて、上達しない。勝てないとモチベーションも下がり達成感を得られないと思う。

○部活の時間が少なく、学校であまり時間が取れないのなら外部にお願いしたい。親が自主練に付き合ったり、上手になりたいのに練習環境がなくて残念です。

→部活動について、お子様の成長や技術向上を真剣に考えておられるお気持ちが伝わります。部活動は仲間と切磋琢磨し、協力する中で得られる貴重な経験の場であり、練習環境の整備は大変重要な課題です。

「平日1日以上、土日のどちらかを休養日とする」という県の部活動方針に基づいて練習計画を作成しております。部活動の質を維持しながら、生徒一人ひとりの意欲や目標に応えられるよう、今後の改善策を検討して参ります。具体的には、練習内容の工夫、外部指導員の活用や地域のスポーツクラブとの連携も視野に入れ、より充実した練習環境の提供を目指します。

○出来れば部活の予定を最低でも半月前までにはお教えいただけますと、助かります。ぎりぎりに研修会や練習試合のお知らせが来ると送迎の都合がつかないので、よろしくお願いたします。

→おっしゃる通りだと思います。大変お忙しい中、送迎等のご協力をお願いしているのに関わらず、ご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありませんでした。全部活動、半月前には練習計画をご提示できるよう、顧問と共通理解を図ります。また、学校外に出る練習試合等は決まった段階で日程だけでもお伝えするよう徹底していきます。

○部活の際、子ども達の声かけの仕方が気になります。例えば、お前が勝てれば県大会に行けたんだなど、厳しいのは悪いこととは思いますが、自尊心を傷つける言葉かけは如何なものかと思えます。

→部活動における指導や生徒同士の声かけについて、ご心配をおかけし申し訳ありません。指導の厳しさは時に成長に必要ですが、生徒の自尊心を傷つける言葉は決してあってはなりません。本校では、指導者が適切な言葉かけを行い、生徒同士も互いを尊重し合える環境作りを大切にしております。今後も、生徒が前向きに努力できるよう、指導方法や声かけについて改めて指導を徹底してまいります。

○部活の遠征の際は保護者との連絡手段として携帯電話の持参を考えていただきたいです。もちろん活動中の際の使用は禁止で当然かと思いますが、行ったことのない施設へ迎えに行く際には、どうしても必要な時もあると思えます。

→本校では、部活の遠征時においても、学校生活の一環と捉え、生徒の携帯電話の持参は認めておりません。安全面を考慮し、引率する顧問が責任をもって対応し、必要に応じて保護者の皆様と連絡を取る体制を整えております。迎えの際などでご不安な点がございましたら、事前に顧問とご相談いただければと思います。今後も、生徒の安全を最優先にしながら、適切な対応に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

○上位大会に出る子や活躍している子を校舎に横断幕で出してあげて欲しい。他の学校では結構見ます。子どもにとっても、地域にとっても活発な印象を与えるのでは?と思えます。

→生徒の活躍を地域の皆様と賞賛することは、生徒の自己肯定感の高まりと地域の活性化に繋がると思います。生徒を称える場として、また、四中のPRの場として、前向きに検討して参ります。

○部活のない木曜日、友人と自主学習する場(環境)があると学習習慣を身につける一助になるのではないかなあと思っています。

→大変建設的なご意見をありがとうございます。生徒の部活動のない日には、職員研修や職員会議が入ることがほとんどで、開放する教室に職員がつくことができません。学校でお子様をお預かりする上で、職員なしで生徒だけになる場合は、できるだけ作らないようにしております。部活動がない日の放課後の時間を有意義に使える生徒の育成に、ご家庭でのお力添えもいただけると幸いです。ご理解ご協力よろしくお願いたします。

○家庭で勉強の習慣がなかなかつかないので、補習等が定期的にあると、そこで復習などができて有難いです。

→部活動の時間を確保しつつ、テスト前に補習的な場を設ける等、前向きに検討してまいります。



○自己肯定感を高める取り組みをしているのは嬉しいが、子ども本人が自己肯定感が高くて未来を楽観視しすぎているように感じるので、現実を理解させることも必要だと思う。

○自己肯定感を高める取り組みについて詳しくわからないので、具体的にどんなことをしているのか知りたいと思いました。

→本校では、生徒一人ひとりの自己肯定感を高めることを大切に、さまざまな取り組みを行っています。主な取り組みは以下の通りです。

- ・ ポジティブな声かけと承認

教師が生徒の努力や成長に目を向け、積極的に「できたこと」「頑張ったこと」を言葉で伝えるよう心がけています。また、生徒同士も互いの良いところを認め合える環境づくりを大切にしています。

- ・ 挑戦できる環境づくり

学習や部活動、行事などで、生徒が成功体験を積み重ねる機会を提供しています。小さな成功を積み重ねることで、「やればできる」と自信をつけられるよう支援しています。

- ・ 振り返りと成長の実感

日々の学習や活動を振り返り、自分の成長に気づけるよう「振り返りシート」などを活用しています。自分の努力を客観的に見ることで、達成感を得られるようにしています。

- ・ 居場所づくり

学級経営を工夫し、生徒が安心して過ごせる環境を整えています。また、「四中しゃべり場」では、相手の意見を否定しない、最後までしっかり聴くというルールのもと、正解のない問いに対して語り合う場を設けています。この「四中しゃべり場」で互いの価値観や考え方を尊重し合う風土が構築されてきています。

今後も、生徒が自分に自信を持ち、前向きに成長できるような環境づくりに努めてまいります。

○家庭での感染対策のため、学校で流行している病気、学年は異なっても学級閉鎖等あれば教えて欲しい。

→感染症の流行状況や学級閉鎖の情報については、スクリレにて全学年に配信させていただいています。今後も迅速に保護者の皆様へお知らせできるよう努めてまいります。ただし、個人情報の観点から、詳細な情報の共有には制限がある点をご理解いただければと思います。今後も、感染対策を徹底しながら、安全な学校環境の維持に努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

○スキー合宿での、スクリレの連絡はよかったです。

→生徒の様子をタイムリーに配信できるよう、また、保護者の皆様に安心を提供できるよう、ICT活用による情報共有の強化や、学校と家庭のコミュニケーション手段の多様化にも力を入れてまいります。

○学習用途以外にも、IT 活用が進むことを望みます。授業参観や個人面談がリモートでも可能になると良いと思います。

→ICT（情報通信技術）の活用について前向きなご提案をいただき、大変参考になります。授業参観については、ペアやグループなど学習形態が変わったり、生徒の発言や活動の全てを拾うのは難しいため、オンライン化は考えておりません。個人面談のオンライン化は、保護者の皆様の時間的制約や移動の負担を軽減し、多様なニーズに応えるための有効な手段だと認識しています。しかし、学校長の方針として「教育は人なり」とあるように、対面で話すからこそそのよさもありますので、それらも鑑みながら検討してまいります。

○3年間で一度はPTA 役員をやらなければならぬという方針をなくしてほしい。働き方改革、部活動の地域移行などは少しずつ進んでいる中、PTA 活動も検討すべき。

→PTA 活動については、学校運営や生徒の学びを支える大切な役割を担っていただいております。一方で、社会の変化に伴い、負担の見直しが必要であることも認識しております。現在、活動の効率化や負担軽減について検討を進めており、今後も保護者の皆様のご意見を伺いながら、より良いPTAのあり方を模索してまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

**様々な視点からのたくさんのご意見をありがとうございました。次年度の教育活動に活かしてまいります。**